



お お せ ど つ う し ん  
**大世渡通信**

**第21号**  
**【2021年4月】**

〒734-0014 広島市南区宇品西2丁目6-27-6 Tel.082-250-8883 Fax.082-255-0006

■■この大世渡通信は私たちとご縁のあった方、ご縁をいただきたい方に差し上げている月一通信です■■

◆母が永眠いたしました◆

こんにちは。中国地方の屋内外サインを自社一貫制作体制で承っております、広島市南区、株式会社日本彫刻工芸、代表取締役の大世渡(おおせど)英和です。大世渡通信第21号をお送りいたします。よろしくお願いいたします。

さて、実は3月11日に私の母が永眠いたしました。76歳でした。母は7年前に大腸がんを患っていました。そのときはステージ4で余命数ヶ月と言われたのですが、抗がん剤による治療が体に合っていたのか、がんがなくなりました。

その後、通院しながらも元気に経理の仕事をしてきていたのですが、7年経って今年の1月に再入院となりました。

コロナの時期ということもあって、面会もなかなかできなかったのですが、2月末になってコロナの状況も落ち着き、面会ができるようになり、2日に1回のペースで面会をしていました。最後は、なんとか意識があるうちに、私の家族も妹の家族も会うことができたので、そこは本当に運が良かったと思っています。

母は日本彫刻工芸の経理として約40年働いてきました。途中からは私の妻もいっしょに経理として働いてくれています。母は頑固で40年前からのやり方を変えず、ずっと手書き……。当時のやり方を貫き、結果、最新のやり方には全然付いていけず、むしろ付いていかなかったのですが、妻がしっかりパソコンに入力してやってくれていたのも、私としては助かりました。

また、印鑑など大事なものは、私が管理していたので大丈夫でしたが、本当はもっと教えてもらわないといけなかったこともあり、終活的なものは、元気なうちにやっておいた方がいいとそれは本当に思いました。

最後に、日本彫刻工芸は、私の父親と母親が守り支えてきてくれた会社です。これからも、しっかり私が代表として、この会社を守り続けます。また、そのためには昔からのやり方に固執せず、新しいことにどんどんチャレンジしていきたいと思っています。

◆編集後記◆

実は、2月から3月にかけて長女も入院していました。原因不明の高熱で心配しましたが、現在は退院して元気です。娘は3月1日が誕生日で、入院中に誕生日を迎えることになり、かわいそうだったのですが、娘から聞いたところによると、誕生日のとき、突然、看護師さんやお医者さんが部屋に押しかけて来て、誕生日おめでとうと寄せ書きをくれたそうなのです。娘はとっても嬉しかったとのこと。大変な時期にここまでしていただけて、私はただただ頭が下がる思いでした。

■大世渡通信はいらないよという方は、大変お手数ですが082-250-8883までご連絡いただければと思います■

【発行者プロフィール】

■名前:大世渡 英和(おおせど ひでかず) ■生年月日:1979年1月18日 ■血液型:O型

■出身地:広島県呉市 ■趣味:料理(食べ飲み歩きも好きです)、音楽(レコードを聴きます)、キャンプ、スノーボード ■家族構成:好奇心旺盛な私、高校時代から交際していた妻、誰に似たか秀才の息子(11歳)、天真爛漫な娘(9歳)

【発行元】株式会社日本彫刻工芸 本社工場 〒734-0014 広島市南区宇品西2丁目6-27-6

Tel.082-250-8883 Fax.082-255-0006 Email:h-ohsedo@niccho.main.jp

